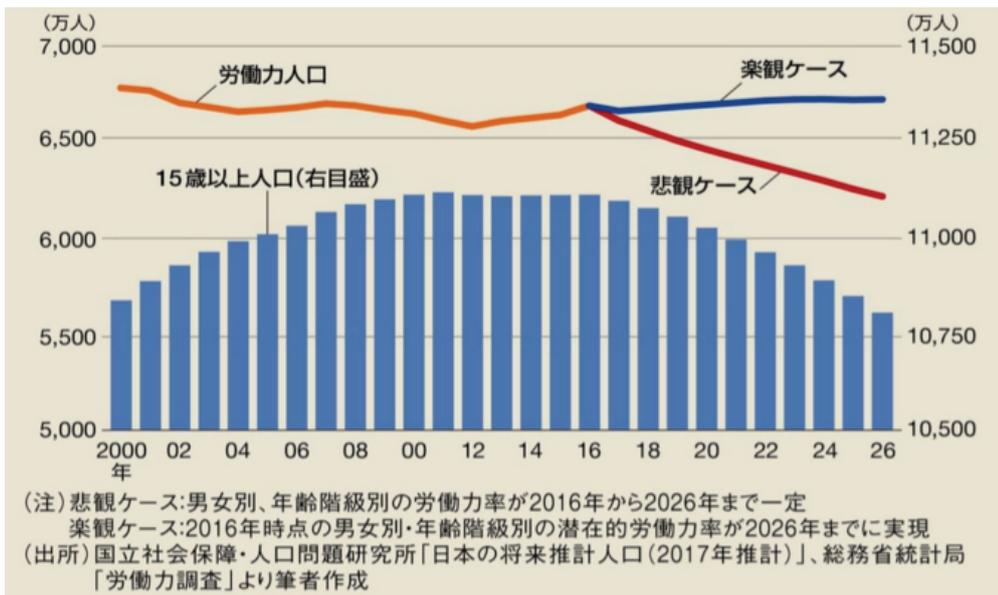


日本の人口減少問題



15歳以上人口に労働力率を掛け合わせた労働力人口は2026年には6200万人となり、2016年よりも473万人減少する（年平均でマイナス0.7%）

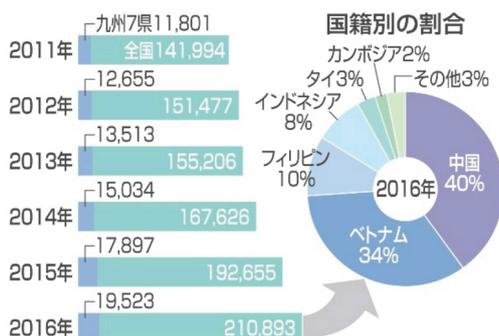
労働力の多様性が重要となる

日本で就労する外国人（総数 108.3 万人）

- ① 就労目的で在留が認められる外国人 約 20 万人
- ② 身分に基づき在留する外国人 約 41.3 万人
- ③ 技能実習 約 21.1 万人
- ④ 特定活動（EPAに基づく外国人看護師・介護福祉士・ワーキングホリデーなど） 約 1.8 万人
- ⑤ 資格外活動（留学生のアルバイトなど） 約 23.9 万人

外国人技能実習生の数

※2011～15年末、16年は6月末時点。法務省「在留外国人統計」より



2011年から5年半で約1.5倍に増えた外国人技能実習生。国籍別では中国が4割を占めるが、経済発展で国内の需要が増した影響もあり、3年前の7割から減少した。最近是人材の供給源が、ベトナムをはじめとする東南アジアの国々に移ってきている